



横手市議会だより

# あなたと市議会

No. 51

平成 29 年  
10 月 15 日号

## CONTENTS

- 9月定例議会の概要……………2～3
- 特別委員会最終報告、7月・8月臨時議会の概要……4
- 会派代表質問、一般質問、友好都市訪問……………5～10
- 常任委員会・分科会審査報告……………11～13
- 行政視察報告……………14
- 議会報告会・意見交換会……………15
- 市議会のあゆみ、編集後記……………16

ぶどう園で実りの秋を満喫



# 平成28年度一般会計決算は僅差で不認定

## 9月定例議会の概要

※9月定例議会の録画映像は、横手市ホームページの議会のページでご覧いただけます。  
 「市議会トップページ」の「市議会動画チャンネル」

### 9月定例議会のあらまし

9月定例議会は、去る8月28日から9月22日までの26日間の日程で開催されました。初日の本会議では、人権擁護委員候補者の推薦4件を異議なしと決定し、固定資産評価審査委員会委員の選任3件を同意しました。

9月7日には追加議案が提出され、平成28年度各会計の決算認定22件は決算特別委員会に、平成29年度一般会計補正予算2件については一般会計予算特別委員会にそれぞれ付託。また、これ以外の議案については陳情1件と共に所管の常任委員会に付託して審査が行われました。

最終日の本会議では、財政健全化判断比率の報告等3件の報告を受け

その後、各委員長から委員会の審査経過と結果の報告が行われました。

議案等の採決結果は、「平成28年度一般会計歳入歳出の決算」は不認定に、「横手市社会体育施設設置条例の一部を改正する条例案」については継続審査となり、それ以外の議案はすべて全会一致で原案可決、陳情は採択されました。

### 大雨災害復旧費を含む平成29年度一般会計補正予算2件を可決

主な補正内容は、7月の大雨災害による農地農業用施設・道路・河川にかかる災害復旧費や、旧大雄中学校校舎解体において、アスベスト含有が認められた外壁塗装下地調整塗材の撤去費用などの経費で、補正額は2件で総額30億9250万円です。

### 人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の任期満了に伴い、堀内新一氏（再任・横手）、菊地均氏（再任・大森）、伊勢谷英子氏（新任・大森）、小西宏彦氏（新任・雄物川）の4人を推薦することに決まりました。

### 新規の「横手市有償旅客運送に関する条例案」を可決

この条例は、交通空白区域における市民の交通手段を確保することを目的に、地域交通のあり方について検討するための実証実験を行うため、市が行う自家用有償旅客運送に必要事項を定めるものです。この11月から、増田町狙半内共助運営体がこの実証実験を行う予定です。

### 平成28年度各会計の決算を審査

8月28日に決算特別委員会の正副委員長選挙が行われ、委員長に塩田勉委員、副委員長に齋藤光司委員が選任されました。9月12・13日には各常任委員で構成された3つの分科会でそれぞれ付託となった案件の審査が行われました。

9月20日には、各分科会長からの審査報告の後、次の2人の委員が総括質疑を行いました。

- 寿松木孝委員
  - ・ 運営補助金について
  - ・ 温泉施設の運営について
- 土田祐輝委員
  - ・ 雪国の快適な暮らしの実現について
  - ・ 人口減少対策について

### 平成28年度一般会計歳入歳出決算は認定しないことに決定

決算特別委員会での討論では、「貴重な予算を注ぎ込みながら、事業効果が不透明なものも多く、これを認めてきた議会も責任を負うべき。しかし、全国消防操法大会に出場する選手の家族旅費については、市長自

ら提案し、議会が議決したにも関わらず、予算を執行しなかったことは、議会の意思を無視する行為で、一方議会人として断じて認定すべきでない」というものでした。採決では、反対多数により認定すべきでないものとしました。

最終日の本会議では、認定することにより賛成の議員から、「消防操法大会の家族旅費は不用額となったが、それをもってしても、一般会計予算全体を不認定とするのは本末転倒だ」との討論がありました。採決の結果、賛成11、反対12（議長除く）となり、平成28年度一般会計歳入歳出決算は認定しないことに決定しました。

### 横手市社会体育施設設置条例の一部を改正する条例案は継続審査に

この条例は、まずは、横手体育館と横手武道館の2施設を念頭に、市長が指定する指定管理者に管理を行わせることができるように条例を改めようとするものです。昨年12月定例会では、指定管理者制度の対象に、赤坂総合公園内の体育施設を加えた施設を想定した条例の一部改正案が

否決となった経緯があります。

指定管理者の選定方法について、これまでの説明では、一般企業への「公募」ということでしたが、総務文教常任委員会での質疑の中で、市から、「非公募」も検討していきたいという内容の答弁がありました。委員長からは、「これまで議会全体として説明を受けてきた方向性が大きく変わるものであり、委員から、このまま審査を続けていくことに疑問を感じるため、継続審査を求めるとの意見が出され、全会一致で継続審査と決定した」と中間報告がありました。

最終日の本会議では、その中間報告を受けた後、議員から、「委員会審査の中で、審査の期限についての協議はなかったのか」との質疑がありました。その後、「継続審査にすることは実質、任期中に審議できず、廃案になるので避けるべきだ」と継続審査に反対する討論がありました。採決の結果、賛成16、反対7（議長除く）で継続審査とすることに決定しました。

案件名	賛 否		一 覧 表 (平成29年9月定例議会)																議決結果										
	賛	否	会派・議員名	新風の会	さきがけ	市民の会	新政会	名いづ	蒼生	表決数	賛	反対	結果																
平成28年度横手市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	●	公明党 土田百合子	立身万千子	青山 豊	加藤 勝義	佐藤 誠洋	高橋 聖悟	木村 清貴	寿松木 孝	播磨 博一	塩田 勉	佐々木 喜一	本間 利博	菅原 正志	阿部 正夫	齋藤 光司	菅原 恵悦	佐々木 誠	小野 正伸	遠藤 忠裕	土田 祐輝	佐藤 清春	佐藤 忠久	高橋 和樹	豊山 豊和	11	12	不認定
「横手市社会体育施設設置条例の一部を改正する条例案」の審査を継続することについて	○	○	立身万千子	青山 豊	加藤 勝義	佐藤 誠洋	高橋 聖悟	木村 清貴	寿松木 孝	播磨 博一	塩田 勉	佐々木 喜一	本間 利博	菅原 正志	阿部 正夫	齋藤 光司	菅原 恵悦	佐々木 誠	小野 正伸	遠藤 忠裕	土田 祐輝	佐藤 清春	佐藤 忠久	高橋 和樹	豊山 豊和	16	7	継続審査	

○：賛成 ●：反対  
 佐藤忠久議長は採決に加わりません。  
 採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致で可決されました。

◆陳情の審査結果◆  
 採 択  
 ・大森リゾート村改修について  
 (横手市体育協会大森支部長 備前雄一氏 ほか6名)





公共施設の在り方に関し、特別委員会が最終報告

公共施設の在り方に関する調査特別委員会の佐藤清春委員長が、昨年9月から調査、検討してきた事項について、「各委員が共有した方向性として、『大型施設の複合化』と『市民との協働による施設整備』が挙げられる。『大型施設の複合化』について、機能の異なる施設を複合化、多機能化することによって、施設間の相乗効果を生み出すことができ、時代のニーズに応えるものである。『市民との協働による施設整備』については、計画に対する市民の理解度が低いと感じられるため、市と市民が一体となった計画の推進を図ることが求められる。市当局においては、各施設の方向性を引き続き示し、各種行政計画との整合性を取りながら、横手市財産経営推進計画によって示された施設や設備の適正管理・運営を全庁横断的に推進し、持続可能な市政の実現と質の高い行政サービスの継続的な提供がなされるよう求め」と報告しました。

# ココが聞きたい!!

## 会派代表質問、一般質問で市政を問う

9月5日は会派代表質問が行われ、3つの会派の代表が日ごろの活動を通して見えてきた行政の課題等について、市長に考えをたしました。

また、6日と7日に行われた一般質問には7人が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。



会派代表質問より（左から）  
市民の会 本間利博議員  
新政会 佐藤清春議員  
さきがけ 塩田 勉議員

会派代表質問・・・P5～6  
一般質問・・・P7～10

※QRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取るとYouTubeで、録画中継をご覧いただけます。



横手市議会マスコットキャラクター しらとり議員

### 法人市民税還付金を増額補正

#### 7月臨時議会の概要

7月21日に開催された臨時議会では、公用車の物損事故など6件の専決処分報告を受けた後、平成29年度一般会計補正予算（第3号）について審議が行われました。これは、市内に事業所がある会社に課税される法人市民税について、過年度に遡り、市税を多く納め過ぎた場合に市からお返しするお金が当初予算で見込んでいた額より過大に発生したため、3,030万7千円を増額補正するものです。

審査は、一般会計予算特別委員会に付託して行われ、連結決算の実態やアベノミクスが当地区に与えている影響などについて質疑がありました。

採決の結果、全会一致で可決しました。



床下の泥出し作業をするボランティアの皆さん  
(写真提供：横手市社会福祉協議会)

### 大雨による災害応急復旧費用の増額などを承認・可決

#### 8月臨時議会の概要

8月4日に開催された臨時議会では、はじめに、7月22日から23日にかけて発生した大雨災害により被災された方々への災害見舞金支給等の支援対策と冠水等による障害物の撤去や被災した農地・道路等の応急復旧に迅速に対応するための費用4億2,900万円の追加補正予算等についての専決処分3件の報告がありました。報告に対する質疑では、大雨発生時に高齢者や障がい者等の世帯に配付されている防災ラジオの緊急割り込み放送がなかったことや、登録している市民の皆さんに配信される「安全安心メール」への災害情報が届かなかったことに対する質疑が相次いだ他、市側に対し、今回の市の対応をしっかりと検証し改善していくよう求める意見も出され、その後承認されました。

次に、平成29年度一般会計補正予算（第4号）について審議が行われました。これは、大雨により被災した農業設備・機械の修繕及び更新に必要な費用、中小企業者が事業を再建するために行う設備修繕等に必要な費用、り災証明を受けた住宅の所有者に対し、修復工事に必要な費用について、それぞれ限度額以内の額を補助するため1億7,500万円を増額補正するものです。

審査は、一般会計予算特別委員会に付託した後、総務文教分科会と産業建設分科会に委嘱して行いました。分科会では、補助申請の窓口についてや補助対象の要件を確認する詳細についての質疑のほか、農業者や中小企業事業者が今後も事業を継続できるような充実した支援と、被災した皆さんの心に寄り添った懇切丁寧な説明を求める意見が出されました。その後開かれた本会議で、補正予算は全会一致で可決されました。

### 農業分野の充実のために大学、研究機関との連携を

市民の会 本間利博議員



●安心安全に支えられたまちづくりについて

問 改訂中の防災マップの見直し内容について伺う。

答 最新の洪水浸水想定範囲や土砂災害危険区域等の情報、7月の大雨災害での小河川氾濫等の被害情報をできるだけ反映させていく。

問 今回の水害の経験から避難所の指定についての考えを伺う。

答 災害の種類などにもよるが、町内会館や地域の寺院などを一時避難所とすることは大変有益と考える。

問 避難訓練の必要性は。

答 自治会単位での防災訓練実施を呼びかける。消防団員を中心に、災害時に先頭に立ってもらう防災リーダーを育成していく。

●農地山林をフル活用について

問 よくて農業創生大学事業の目的について伺う。

答 農業所得の向上と担い手の確

保育成にある。

問 農業創生大学事業では一貫した教育方針とより専門的なカリキュラムが必要と考える。大学や研究機関との連携について伺う。

答 専門的な分野はもとより、市民向けの講座についても専門機関と連携強化を図っていく。

●活気あふれる充実した市民生活について

問 市長の目指すまちづくりとは。

答 スポーツや文化、生涯学習などに力を入れ、地域の特性を生かして活気あふれる横手市を目指す。



大雄実験農場フィールドデーの様子



### 交通不便地域の解消にスクールバスの活用を

新国会 佐藤清春 議員



●市民にやさしい地域公共交通のあり方について

問 市民への行政サービスの公平性についての考えを伺う。

答 様々な条件により、一律のサービス提供が困難であることも事実。市の目指すべき方向性を検討し、それぞれの地域に適した交通体系の確立を目指していきたい。

問 デマンド交通のみの交通不便地域における住民の利便性向上のための対策を伺う。

答 デマンド交通を利用しても、高額な利用料が発生する周辺部において、新たな公共交通体系のあり方を模索したいと考えている。

問 交通不便地域の解消策としてスクールバスの活用を検討すべきと思うがどうか。

答 小中学校12校で42台運行しており、現時点では、生徒のみの利用としているが、今後、生徒数の減少が想定されることから、ス



地域交通としての有効活用を望むスクールバス

クールバスのあり方についても検討していく。

●大雨災害の検証と今後の対策について

問 防災ラジオを全世帯に配備するべきと思うが市長の考えを伺う。

答 当面、情報伝達ツールを持っていないと考えられる高齢者などの災害時要援護者を主な対象とした現行の体制で実施していきたい。なお、防災情報の伝達については、難聴地域の解消も含め、スマートフォンや携帯電話と合わせて総合的に検討していく。

### 廃校となった体育館の有効活用を

さきがけ 塩田勉 議員



●4年間の市政の検証について

問 組織機構改革でスポーツ振興課と生涯学習課がなせ市長部局に移ったのか。地区交流センター化を始めるにあたり、この後どう検証し、どう考えていくのか。

答 スポーツ振興課については、スポーツ立市の実現のため、教育委員会から市長部局へ移した。スポーツ少年団の活動や学校の教育活動の部分では、教育委員会との連携も必要と考える。

生涯学習課については、地区交流センター化を進めるにあたり、市民の皆さんの理解のもと自主組織をいかに作るかが重要であり、市職員が市民の皆さんと地域課題を共有し、しっかり支援していく。

問 人口減少対策としての企業誘致についてはどうか。

答 雇用の創出は優先課題として捉え、市内企業への支援と新たな誘致活動を行っていく。



利活用が望まれる旧雄物川北小学校体育館

問 7月22日から23日までの大雨災害を受け、市長の所見を伺う。

また、この水害を踏まえ、市内の廃校となった小中学校の体育館を避難場所とする考えはないか。

答 課題を抽出し、早急に「防災・減災」を目指すとともに、被災者への支援に努めていく。廃校の体育館6施設については、利活用の公募を行い、応募がない場合は、平成32年度まで解体する方向で検討する。解体までは状況に応じ、一時避難所や物資の集積場所として活用していく。

### 議会からの決議文をどう思っているのか

#### A 重く受け止め綱紀粛正に努める

佐々木喜一 議員



問 6月議会で、議会から提出した業務執行における市長の責任を問う決議文についてどう思っているのか。

答 指摘された業務執行については忸怩たる思いで反省している。再発防止に向けた指導と業務改善、綱紀粛正を図り、信頼回復に努めていく。問題についての最終責任は自分自身にあると考える。

問 地下水利用地域の水道普及について伺う。

答 水道の未普及地の解消については、地区の要望や状況、アンケート結果などを勘案し、緊急性がある場所から事業を実施している。老朽管の更新や耐震化事業などを実施中で、今後も、浄配水施設の整備など必要なことから、即時には予算的に難しい。

問 増田西成瀬地区についてはどうなっているか。

答 平成30年度から、どれ

#### 市の適正な事務執行を求める決議

本日、本会議において、代表監査委員から議会の請求に基づく監査結果の報告を受けた。このたびの監査により、様々な問題点が明らかになったところである。すでに事務の見直しを行った事項もあるようだが、監査委員から指摘された問題点については、適切な見直しを早急に行う必要がある。

6月定例会で議会から出された決議文の一部（議会だより50号より）

### 国保の都道府県化で、市の保険料はどうなるのか？

#### A 現在の市の国保税率の維持に努めていく

立身万千子 議員



問 制度改正後の国民健康保険料算定の市の方針は。

答 激変緩和措置や財政安定化基金の活用等で、現在の国保税の維持に努める。

問 保険料を滞納した場合の資格証明書や短期被保険証の発行、更に滞納整理機構との関係は、都道府県化によってどう変わるのか。

答 県内でも各市町村で対応が違いため、当面は現在の市の実施方法を継続する。

問 第2期横手市データヘルス（保健事業実施）計画策定にあたり、国保連合会支援・評価委員会から指摘された点をどう反映するか。

答 第1期では、若い世代の受診率を指標として取り入れることや健康の駅利用者にターゲットを設定し事業を実施するよう指導があった。第2期の策定にあたっては特定健診（メタボ対策等）において若年層への対応強化に努める。



健康の駅よこてが考案した「らくらく体操」

問 糖尿病等の予防策などをデータヘルス計画に盛り込む際、関係する課がどう連携し対応するのか。

答 国保、保健、介護、包括の担当が連携し計画策定委員会を設置しており、医師会とも連携を図っていく。

問 後期高齢者医療制度の保険料軽減措置継続を願う意見書案に、横手市選出議員である高橋市長は広域連合議会で反対した。今も考えは変わらないか。

答 世代間や制度内の負担の公平性を図るため、保険料軽減の見直しはやむを得ないと今も考えている。



大雨により上溝川等が氾濫、甚大な浸水被害への改善策は？

国や県関係機関に対し要望活動を行い、住民の安全確保に努める

土田 百合子 議員



●災害対策について

問 これまでは、主に地震を想定してのマニュアルを作成してきたと思うが、水害時の初動対応マニュアル作成が必要ではないか。

答 平成30年度には水害対応に特化したマニュアルの策定を予定していたが、現在、前倒しで策定作業を進めている。

問 「緊急連絡先電話番号」を明確にすべきと考えるが。

答 現行のハザードマップの表紙にも記載しているが、今回改訂するハザードマップの裏表紙には代表的な連絡先を見やすく表示する。

問 避難された方から、トイレの洋式化等の要望があったが、避難所の「バリアフリー化」の考えはないか。

答 洋式トイレが未設置の指定避難所は、公共施設全体の洋式化を進める中で対応を検討していく。

問 横手市災害見舞金のお



氾濫後の上溝川の様子（大森地域）

り方について今後の考えは。

答 床下浸水であっても、床暖房や床下収納など床下の設備等により、床上浸水と大差ない被害となるケースもある。今回の大雨災害の状況を踏まえ、見直しの必要性について検討する。

■その他の質問

・境町関合地区の水路整備について

・「大鳥井山遺跡」指定区域内の水路整備について

・赤坂荒沼地区の浸水対策について

この4年間を振り返り、「部局横断」の具体的な取り組みと成果を問う

取り組みの大小はあるが、職員の意識は確実に変わってきている

奥山 豊和 議員



問 この4年間、市長はどのようにリーダーシップを発揮してきたのか。事務手続きのミスや似たような不手際が繰り返されるなど、市役所内で部局横断による問題意識が共有されていない。市長は組織の最高責任者として、具体的にその責任をどう取るのか。

答 これまでも同じミスを他部署で繰り返さないよう指示してきた。引き続き真摯に向き合うよう訓示する。

問 横手市財産経営推進計画（FM計画）を進めていくためには、部局横断と組織内の意思統一や市民との対話に加え、市長の強力なリーダーシップが必要だ。地方創生系事業を含め、部局を超えた政策立案や事業展開が必須と思うが、誰が組織全体を俯瞰して捉え、企画調整を行っているのか。

答 事務方として、総合政策部長が全市の視点をとらなければならない。私が議場で説明したところについては深く反省する。



市長が確たるビジョンを持って、それが組織全体で共有される「部局横断」を持つて調整している。

問 3つの部の連携による応援人口拡大事業について。市長の昨年6月議会所信説明における「応援市民証を発行し、当市まで直接訪問頂く仕組みを構築する」との発言が、事務方に否定され実施できていない。市長と市民との約束であるはずの議場での言葉が実現されないのであれば、市長のどの言葉を信じたらいいのか。

答 政策に求める結果のためにどうアプローチするかだ。私が議場で説明したことで実現に至らなかったことについては深く反省する。

「ゆっふる」「さくら荘」「ゆとりおん大雄」の存廃は選挙前に示すべきだ

6施設の交渉結果を踏まえなければ示すことが難しい

齋藤 光司 議員



●横手市公共温泉施設の民間譲渡の取り組みについて

問 「ゆっふる」「さくら荘」「ゆとりおん大雄」はなぜ交渉事業者なしとなったのか。

答 「ゆっふる」への応募事業者は、公募要項で定めた「租税に未納のない法人であること」に、該当しなかった。「さくら荘」への応募事業者は、安定的な経営という点で懸念が払拭できないと判断された。「ゆとりおん大雄」は、応募事業者から申請が取り下げられた。

問 6施設は交渉事業者が決定したが、譲渡条件等どう調整し可否を決めるのか。

答 主な事項として、三セク所有資産の取り扱い、土地の有償譲渡に関する意向、源泉の取り扱い等を調整している。市民に喜ばれる施設運営を念頭に、譲渡候補者を最終決定していく。

問 市長の今議会の所信説明では、10月に譲渡候補者



おおもり温泉「さくら荘」

を決定し、最終的に譲渡できなかった施設の存廃については、12月までにまとめるとある。10月15日に市長と市議会議員選挙がある中で、譲渡候補者の決定はその後にすべきであり、「ゆっふる」「さくら荘」「ゆとりおん大雄」の存廃は選挙前に提示するのが市長の責任ではないか。

答 譲渡候補者の決定、公表の時期は10月後半を想定している。3施設の存廃は、6施設の交渉結果を踏まえなければ示すことが難しい。

大雨災害時、一時避難所として町内会館等を指定してはどうか

町内会館や寺院などを一時避難所とすることは大変有益である

小野 正伸 議員



問 現行の避難所は主に地震の災害を想定した設置だと思われるが、スポット的な水害では避難所までたどり着けない。一時避難所として町内会館等を指定し、安全確保を図ることが得策と考えるが今後の対応を伺う。

答 今回の大雨災害では住民の皆様の避難や避難所開設において、多くの課題や教訓があった。地域によっては避難所が遠く、高齢者が歩いて行くには無理がある所も多々あるのが現実であり、災害の種類や地形にもよるが、町内会館や地域の寺院などを一時避難所とすることは大変有益と考えている。今後、地域の皆様に身近な施設を市の避難所として指定していくことについては、ハザードマップ改訂に関する説明のため、各地域を回る際にご意見を頂きながら検討を進める。



金沢地区で唯一の避難所（金沢孔城館）

問 全国学力テストについて、部活動の長さや成績は相反するような報道もあったが、実際のところ、どのように分析しているのか。また、小学生（スポーツ少年団）と中学生（部活動）の一貫した指導体制が必要と思われるが、考えを伺う。

答 当市の各中学校とも生徒の家庭での学習時間をしっかりと確保し、週一回の部活動休止日を設けるなど、学習と部活動の両立が図られている。スポーツ少年団と中学校における部活動の一貫した指導体制を整えることは必要と考えている。



### Q 地域の未来像をどう考えるか

### A 「小規模多機能自治」を参考にした自主運営組織を育成する

菅原正志議員



●横手市の目指す地域のあり方を問う

問 地域と地域局との関わりの中で、地域づくりのパートナーとなる職員を担当として置けないか。

答 住民の自主運営組織の育成が重要と捉え、これまで以上に積極的にサポートする体制を整える。

問 地域づくり事業のその後をどう考えるか。

答 これまで、委員として地域づくりに尽力いただいた430名の方々には、知識や経験を生かし、自主運営組織で中心的役割を担っていただくことを期待する。住民主体の事業については、来年度予算編成までに検討し、事業に差し支えることがないようお知らせしていきます。

問 地区交流センターの現状はどうか。

答 これまでの生涯学習に加え、地域ごとに特色ある

事業が展開され、女性をはじめ参加する人数が増えている。

問 地域を担う運営組織のあり方をどう考えるか。

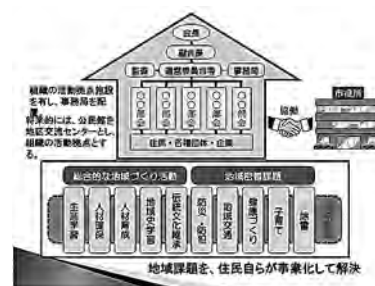
答 これまでの構成内容に加え、中高生や若者など、より多くの住民の皆様に参加いただくのが望ましい。

問 戸数や地域事情を考えた地区会議の再編を考えてはどうか。

答 地域特性を考慮し、地域の皆さんと一緒に考える。

問 地区交流センター化を目指す地域への取り組みは、

答 地域の総合力で自主運営組織の設立が重要と考え、拠点を含め協議を進める。



地区交流センターのイメージ図

#### ◆28年度一般会計決算

問 避難行動要支援者名簿の整備状況はどうなっているのか。

答 平成28年度現在で名簿登録者は8426人おり、名簿を公開してもよいという方は3119名。名簿は災害時に協力いただける団体に公開することとしており、542団体のうち198団体が名簿受け取りを許可している。

問 クリーンプラザよこの熱回収施設の運用状況と、残った電力の取り扱いは。

答 コミ焼却による排熱を利用した発電電力は施設内で利用し、残った電力は代表企業に売電している。企業努力により、効率の良い発電をすれば利益につながるシステムとなっている。

◆29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

問 第2期データヘルス計画について、どのような方針で取り組むのか。

答 第2期では1期の分析結果を踏まえての保健事業の実施を重点的に考えている。保健事業は、経年比較を実施の上、毎年度振り返りを行い、

8月5日から2日間、神奈川県厚木市を「結まつり」に合わせて訪問しました。厚木市議会への表敬訪問では、正副議長と職員の方から歓迎を受け、その後の意見交換会では、友好都市交流事業をより発展的に展開していきたいと申し入れ、検討いただくこととなりました。また、神奈川県総合防災センターを視察し、地震・風水害・煙避難コーナーを体験しました。災害に対する意識の高揚を図るための映画上映設備もあり、多くの来館者が見入っていました。(遠藤 忠裕)



厚木市議会を表敬訪問

## 友好都市訪問

8月25日からの2日間、茨城県那珂市を訪問しました。出迎えていただいた後、横手市産ホップでクラフトビールを醸造している木内酒造の工場を見学。近年、クラフトビールの需要が増えているとのことで、横手産ホップの品質、生産量と供給、これからの展開などの説明を受けました。翌日は、なかひまわりフェスティバルの会場である那珂総合公園へ。開会式で横手市を紹介、PRすることができました。また、横手市のブースでは、特産品や横手やきそばの販売に汗を流していました。(佐々木 喜一)



那珂市民の皆さんに横手市を紹介

### 那珂市

### 厚木市

問 解体後の医師住宅敷地の活用について。

答 被災前は物置として利用してきました。解体後は、プレハブ等を設置し引き続き物置として使用するか、売却のめどが立てば処分したい。

◆29年度一般会計補正予算(第5号) 地域生活支援事業について。

答 平成30年度から重度訪問介護サービスの中で医療機関にもヘルパーを派遣できることになっている。基本的には国の指針に沿って実行すべきだが、もしそれが現在の市のサービスより低下することになれば、市独自の支援も考える。(土田 百合子)



大雨で被災した医師住宅

## 厚生常任委員会



土田百合子 高橋和樹 菅原恵悦 播磨博一  
土田祐輝 佐藤誠洋 木村清貴 阿部正夫

## 第2期 データヘルス計画は市独自の実施計画を





# 産業建設常任委員会



青山 豊 小野正伸 佐々木喜一 齋藤光司  
加藤勝義 佐々木 誠 佐藤清春 塩田 勉

## 決算審査で 徹底議論を展開



### ◆28年度一般会計決算

**問** 男性の育児休業取得促進事業の分析について。

**答** 企業訪問等で話をすると、仕事を休んで育児をすることが、会社に対して申し訳ないという部分と、10日以上も仕事を休んで自宅にいることに対し、地域の中に受け入れてもらえないようなところが背景にあるようだ。子どもが産まれたら育児に携わるとい意識付けが必要と感じている。

**問** 新規就農者経営開始支援事業において、その実績と次年度における支援体制について。

**答** 18件の補助金を支出している。県補助金に市の助成金を上乗せする形で343万7千円を補助している。次年度は県の普及指導課、JA、市などそれぞれの分野の組織が連携を図り支援していく。

**問** 横手市共通商品券発行支援事業の実績内訳について。

**答** 2004万3千円のうち、市で購入した分が1561万8千円で、一般の方に購入いただいた分が442万5千円である。

**問** 温泉観光施設費について、源泉管理費が毎年かかる。温泉施設が民間譲渡される場合は、源泉付きで譲渡されるのか。

**答** 一緒に譲渡する方向だが、複数の施設に温泉を供給している源泉もあるもので、そのようなところについては、譲渡せずに有償での温泉の供給も考えられる。源泉については、公募の際に、現在の状態とこれまでの実績をお知らせし、そのリスクも納得した上で応募していただいているものと認識している。

**問** 街路灯LED化事業について、地域企業の新規商品開発を支援するため、灯具を買い取り設置した事業だが、不具合が生じた数はどれくらいか。また、今後企業がこの商品を開発していく中で、市としてどのような指導や所見があるか。

**答** 不具合は144件で、その都度原因を突き止め、解消し、再設置している。現在、企業では、製品をカスタマイズしているが、さらなる改良を加えて全国展開を果たしていただければと考えている。

### ◆28年度一般会計決算

**問** 消防団が全国大会に出場するに伴って家族分の経費を補正に計上したが執行しなかった。議決したものを執行しなかったのは大きな問題だ。しかもその分は団員が募金をしている。予算措置のあり方を含め、今後はこういった事案にどう対処していくのか。

**答** 予算を執行しなかったのは反省している。今後は支援のあり方を検討し、事前に制度を整えていきたい。

**問** 十文字小学校統合事業の用地選定にあたり、隣接する市の所有地がありながら、その活用を行わず、大きく新たな土地を取得するべく地権者と交渉している。この判断はどうか。

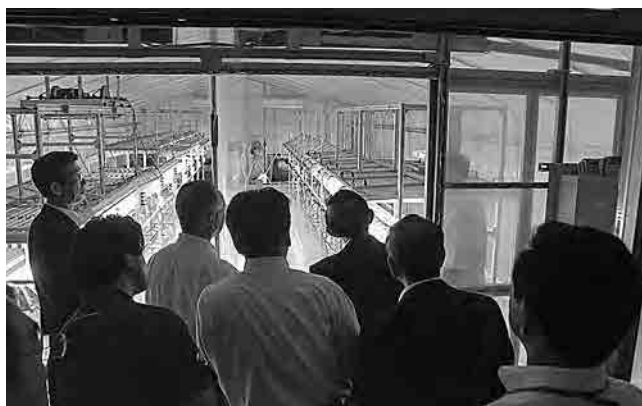
**答** 公有地の活用も検討はしたが、道路で分断されており、児童の移動等も考えると一体的な土地の確保が必要との判断である。駐車場を多くとっており、他校と比較しても特段取得用地が広い訳でない。

**問** 増田のまちなみ振興事業でJRのキャンペーンに合わせて十文字駅から増田まで臨時バス、ジャンボタ

### ◆29年度一般会計補正予算(第5号)

**問** 有害鳥獣駆除事業について、狩猟免許所有者の高齢化をどのように考えているか。

**答** 猟友会は各地区にあり、会員数は112名で平均年齢は62・23歳である。当市では免許取得の助成はしていないが、猟友会組織維持のために年間63万5千円を補助している。主な用途としては、弾代、射撃場の使用に充てられている。今後の方向性については、猟友会と協議していきたい。(青山 豊)



旧金沢中学校を活用した植物工場を視察

担金で受益者負担が10%とあるが、激甚指定となったことで負担割合は変わってくるのか。

**答** 今後、国の激甚査定の結果次第だが、単位面積あたりで一律に軽減されるものではない。補助金を除いた額を緩和するものであるが、市としては、受益者の負担がなるべく軽減できるよう協議していきたい。

### ◆大森リゾート村改修の陳情

現地を視察し、関係者から説明を受けた後の審査では、2名の委員が陳情の願意は理解できるとする賛成討論を行い、採決の結果、採択すべきと決定した。(高橋 聖悟)



改修の陳情が出された大森リゾート村を視察

# 総務文教常任委員会



高橋 聖悟 立身万千子 菅原正志 奥山豊和  
本間利博 寿松木 孝 佐藤 忠久 遠藤 忠裕

## 分科会長裁決により 一般会計決算不認定!!



**問** ◆29年度一般会計補正予算(第5号) 農地農業用施設災害復旧事業分

委員より、反対の立場で、「予算を執行するにあたり、もっと精査してから実施すべき」という事業が審査を通り非常に多いと感じた。増田のまちづくり、十文字小の土地問題、消防団に対する予算の未執行の件でも、部局横断が薄く議論が不足しており、それが決算に表れているということが大変残念であったため認定に反対する」との討論があった。起立採決の結果、出席委員の可否が同数となったため、決算分科会長の裁決により、不認定とすべきと決定した。



まちづくりリノベーション事業・北九州漫画ミュージアムで学ぶ

7月12日～14日 総務文教常任委員会視察報告

北九州家守舎は、北九州市小倉北区を中心に行政と連携して街の再生を手掛ける民間会社であり、そのユニークな手法に注目しての研修でした。リーマンショックなどで北九州市もテナントの撤退が相次ぎ、空き店舗が増加、地価の下落で地域が疲弊していたことから事業展開でした。当初は実績不足で資金調達が困難だったことから会社を設立し、現在では多くのリノベーション事業を手掛けている状況でした。

また、行政は各部署の窓口申請がスムーズに進むようサポート役に徹した体制をとるなど、民間活力中心の事業展開は大変参考になりました。

翌日は、北九州市の中心地である小倉駅に隣接した北九州市漫画ミュージアムを視察しまし



何度来ても飽きない工夫が随所に見られた北九州漫画ミュージアム

た。このミュージアムは文化庁の「先進的文化芸術創造活用拠点形成事業」を活用し、漫画文化を生かした文化振興の推進をコンセプトに漫画の芸術的価値の発信、何度来ても飽きない工夫をこらした施設運営を目指していました。

現在休館中の増田まんが美術館リニューアル開館後の運営の参考にしたいと思えます。  
(寿松木 孝)

16 会場で議会報告会・意見交換会を開催



増田地区多目的研修センターでの様子

6月26日から7月7日の日程で、議会報告会・意見交換会を開催しました。

議会報告会では、「地区交流センター化について」と、「横手市財産経営推進計画(FM計画)の現状について」をテーマに審議状況と課題などを報告しました。

意見交換会では、市民の皆様から、市政などに対するご意見やご要望を多くいただきましたので、市長からの回答が必要な項目については、準備が整い次第皆様に公開してまいります。(遠藤 忠裕)



平成29年度 議会報告会・意見交換会の実施概況について

開催日	地区名	開催会場	参加人数	意見交換会で出された主な意見・要望
6月26日(月)	金沢	金沢孔城館	19	・旧金沢公民館が解体されると不便と感じる方が多い。 ・熊の被害が多く心配。狩猟の免許などに関する補助の方向性はどうか。
	福地	福地公民館	37	・婦人会の助成金が少なく大変困っている。ぜひ考えてもらいたい。
6月27日(火)	保呂羽	前田公民館	15	・女性が心配なく働ける環境として、企業の周りにも小さな託児所を整備してほしい。
6月28日(水)	くろかわ	オアシス館	10	・統合で小学校がなくなり、人口減少の中、公民館の維持も重荷となり不安を感じる。 ・どうしたら若者が定着し、雇用が確保できるか、良い案を考えたことがあるのか。
	朝倉	あさくら館	18	・各町内の班長を集めて美化活動をしてもらいたい。
	旭	旭ふれあい館	11	・循環バスが来てくれれば、高齢者は安心して暮らせるし、免許証返納もできる。
6月29日(木)	さかえ	さかえ館	17	・市からの共助組織への補助金支給期間を延長してほしい。 ・地区交流センターと包括ケアシステムがバラバラだ。一元化が大事なのではないか。
	山内西・中央・南	山内公民館	23	・山内中学校も統合となれば地域格差がますます広がる。地域性を考慮し、不利益にならないよう議論を進めてほしい。
6月30日(金)	大森・白・山川西	大森地域局	24	・大森支えあい協議体の活動費が少なすぎる。 ・温泉の譲渡に関して、2施設が使用している源泉の権利はどうするのか。
	山内北	松川コミュニティセンター	17	・松川コミュニティセンターを避難場所にしてもらえないか。 ・市民会館はだいぶ古い。雨が降ってもコンサートができる施設があればいい。
7月4日(火)	横手西	サンサン横手	22	・災害時の避難場所の看板や、Y <sup>2</sup> ぶらざなどの案内版や標識を作ってほしい。 ・地区交流センターをどう発展させるかの議論を進める必要がある。
	横手南北	市役所本庁舎	26	・神明社前の道路は小学校の通学路になっているが、道幅が狭く危険であり改善を望む。
7月5日(水)	館合	館合公民館	21	・地域に路線バスがないため、目的外使用だろうが、スクールバスを使わせてほしい。
7月6日(木)	大雄全地区	大雄交流研修館ふれあいホール	22	・大雄堆肥センターの臭いがひどく、なんとかしてほしい。 ・地区会議代表は順番で集落の代表が担うとすれば責任が重く、集落まで壊す傾向になる。
7月7日(金)	平鹿全地区	平鹿生涯学習センター	24	・FM計画を進め予算を削減しているが、全般的に少ない。あやめマラソンも廃止となった。
	増田全地区	増田地区多目的研修センター	30	・増田地域センターを増田庁舎内として活用するといった大胆な考えはないか。 ・市職員の手助けがないと地区交流センターの運営は難しい。

終わりになき議会改革のための

7月27日～28日 議会改革推進会議視察報告

議会改革推進会議では、平成27年12月より議会基本条例の検証作業を行いながら、私たちの活動がより市民の皆さまに開かれたものとなるよう議論を重ねてきました。

この度、災害時における議会の対応や議会改革の取り組みについて、東日本大震災などの大きな災害を経験した、福島県郡山市と宮城県栗原市を訪問し、リアルな現場の声を聞きしました。迅速かつ適切な災害復旧のためには正確な情報収集が必要で、議員が各々市当局に情報収集や要望を行うと、個別の対応が必要となり情報も錯綜することから、災害時における議員の行動指針をあらかじめ決めておくことが大切です。横手市議会においても、災害発生時の対応要領により、議員の自覚を持って行動することを定めておりますが、この度の大雨災害で



栗原市議会を視察

は、タブレット端末の活用によって迅速な情報共有を図ることができました。議会運営については、予算・決算審査において、議員は決められた持ち時間の範囲内で質疑を行うというやり方が大変興味深く、議会運営には様々な手法があつて、議会改革にゴールはないのと同様、常に前向きな議論をしていかなければならないことを学びました。  
(奥山 豊和)



# 市議会のあゆみ

～新横手市が誕生して3期目となる平成25年10月から29年10月までの主な出来事を振り返ります～

## 平成25年(2013)

選挙投票日 10.20 定数を4人減らし、26名の市議会議員選挙。即日開票。(候補者29名、投票率68.72%)  
 初議会 11.12 議長に木村清貴議員、副議長に遠藤忠裕議員を選出。各委員会の委員を選任。  
 12月定例会議 12.2 議員定数に合わせ議場を改修し、新たに「質問席」を設置。  
 ～12.18 議会改革に関する特別委員会(10人)と市出資法人に関する特別委員会(6人)を設置。  
 佐々木豊氏、飼田一之氏、佐藤誠洋議員の監査委員選任案に同意。



市内8中学校による初めてのY8サミット創快横手市議会(H26年12月)

## 平成26年(2014)

1月臨時議会 1.21 医療機器導入の財産取得議案と、除排雪費用などを盛り込んだ一般会計補正予算案を可決。  
 3月定例会議 2.24～3.19 市役所の位置を「条里一丁目1番1号」から「中央町8番2号」に改める条例改正案を可決。  
 議会改革に関する特別委員会が、議会基本条例の検証と議会報告会の充実を図る中間報告。  
 かまくら館の5階を一般開放するための設置条例の一部改正案などを可決。  
 6月定例会議 6.9～6.25 横手北小学校建設工事の契約締結案を可決。藤本和宏氏の副市長選任案に同意。  
 8月臨時議会 8.1 議会決議案「将来に希望の持てる農業政策を推進する決議」「秋田県後期高齢者医療広域連合派遣職員死亡に関する第三者委員会による調査実施を求める決議」を可決。  
 9月定例会議 8.25～9.19 議員提案による「地域経済の発展と雇用の安定に関する意見書」の提出を可決。  
 米価下落に対応するため、無利子の制度資金保証料助成費を含む一般会計補正予算案を可決。  
 一般会計補正予算案で安田地区土地区画整理事業関係費用を減額する修正案を全会一致で可決。  
 10月臨時議会 10.15 市出資法人に関する特別委員会が平成27年9月まで期間を延長し検討するとした中間報告。  
 12月定例会議 11.25 議会改革に関する特別委員会が議会広報委員会のあり方や議会基本条例の運用確認など最終報告。  
 ～12.10



今年で6回目となった議会報告会  
・意見交換会の様子

## 平成27年(2015)

1月臨時議会 1.26 除雪費と高齢者雪下ろし雪寄せ支援に係る経費を増額した一般会計補正予算案を可決。  
 3月定例会議 2.23～3.19 地方創生関連予算などを盛り込んだ総額570億6700万円の新年度一般会計予算案を可決。  
 石山清和氏の副市長選任案に同意。  
 5月臨時議会 5.20 市営温泉「ゆとりおん大雄」の指定管理を解除し、さらに大雄振興公社所有の原材料を買収するための一般会計補正予算案を賛成多数で可決。  
 6月定例会議 6.8～6.24 新規の「空家等対策協議会設置条例」案を可決。  
 マイナンバー制度実施に関する予算を盛り込んだ一般会計補正予算案などを可決。  
 7月臨時議会 7.13 クリーンプラザよこての工事費用を2億6784万円増額する契約変更議案を可決。  
 9月定例会議 8.24～9.17 多機能アリーナ整備検討調査事業予算を減額した修正案を可決。  
 議員提案による「市出資法人への関与に関する条例」を可決。  
 横手市議会会議規則に、本会議などの欠席理由に「出産」規定を設ける一部改正案を可決。  
 議長に佐藤忠久議員、副議長に菅原恵悦議員を選出。各委員会構成を改編。  
 11月臨時議会 11.12 阿部正夫議員の監査委員選任案に同意。  
 12月定例会議 11.30 円滑な議会活動推進のため、タブレット端末導入推進会議(委員6人)を設置。  
 ～12.16



タブレット端末を使用した定例会議の様子

## 平成28年(2016)

3月定例会議 2.24～3.18 市長からの「アリーナ建設事業」の一部訂正案を否決。  
 「アリーナ建設事業費」6700万円を削除し、旧大雄中学校跡地を活用した農業研修施設設計委託料2100万円を予備費に組み替える2つの修正案を賛成多数で可決。  
 6月定例会議 6.13～6.29 一般会計予算特別委員会が共通商品券発行支援予算削除の修正案が出されたが賛成少数により否決。  
 その後本会議で原案を可決。  
 9月定例会議 8.29～9.23 広域防災拠点機能を有する横手体育館(よこてアリーナ)の建設推進についての請願は賛成少数で不採択。  
 12月定例会議 11.28 公共施設の適正管理などを調査するための公共施設の在り方に関する調査特別委員会(9人)を設置。  
 横手市都市公園条例及び横手市社会体育施設設置条例の一部を改正する条例案を賛成少数で否決。  
 ～12.14 タブレット端末を導入し、本会議と委員会での本格運用を開始。



H29年4月から開設した市議会公式フェイスブック

## 平成29年(2017)

1月臨時議会 1.24 市に進出予定の企業に条里南庁舎の一部を貸し出すため、改修工事費などを増額する一般会計補正予算案を可決。  
 3月定例会議 2.27～3.22 浅舞スポーツセンター売上金等の一時紛失と障がい者就労継続支援訓練等給付費の支払い遅延に関し、議会監査請求の動議を賛成多数により可決。  
 6月定例会議 6.5～6.21 健康の駅推進システム改修費208万7000円を減額した修正案を可決。  
 監査報告を受け、「市の適正な事務執行を求める決議」を全会一致で可決。  
 一般質問の質問方法を一問一答方式と一括質問一括答弁方式を選択できることとした。  
 7月臨時議会 7.21 法人市民税過誤納還付金を増額した一般会計補正予算案を可決。  
 8月臨時議会 8.4 大雨被害応急復旧費用等の追加についての専決処分を承認。農業者や中小企業を支援するための補助事業と被災家屋等の修復に要する経費に係る一般会計補正予算案を可決。  
 9月定例会議 8.28～9.22 平成28年度一般会計決算を僅差で不認定。  
 社会体育施設設置条例の一部改正案は継続審査。  
 選挙投票日 10.15 定数26名の市議会議員選挙。即日開票。  
 任期満了 10.22

## 編集後記

任期締め括りの発行にこぎ着けられましたことに感謝します。広報の基本は何よりも議会を皆さまに身近に感じていただくことにあり、議会の様子を分かりやすく伝えるための意見を活発に交わしてきました。QRコードの掲載、市議会公式フェイスブックの開設に続き、タイトルを「あなたと市議会」としたことも、その思いの表れとお酌み取りください。この号が発行されると間もなく、新しい構成の市議会となりますが、新広報委員も市民とともに歩む議会を目指し、編集作業に邁進されることとしよう。皆様のご愛読を切に願うものです。(阿部 正夫)

### ◇広報広聴委員会広報分科会◇



(前列右より) 奥山 豊和、佐々木 誠、立身万千子、(後列右より) 高橋 和樹、高橋 聖悟、阿部 正夫、佐藤 誠洋